

令和5年度 第13回 役員会議事要旨

日 時：令和5年11月6日（月）

午後1時30分開会

午後2時45分閉会

場 所：Web 会議

出席者：総長、山口理事、横田理事、増田理事、山本理事、高橋理事、菅原理事、
行松理事、梅原理事

欠席者：なし

（オブザーバー）

高橋監事、石川監事、渥美副学長、弼副学長、石森副学長、長谷山副学長、清水副学長

議事に先立ち、総長から資料に基づき、10月23日の令和5年度第12回役員会の議事要旨に係る確認があった。

議 事

議案1 「多様な財源による教員の雇用制度」の改正について

山口理事から、資料に基づき、平成30年度に創設した「多様な財源による教員の雇用制度」の改正について、対象財源を拡大するとともに、財源の確保期間に応じた柔軟な任期の設定を可能とすること等について説明があり、審議した結果了承された。

議案2 諸規則の一部改正について

総務課長から、資料に基づき、諸規則の一部改正について説明があり、審議した結果了承された。

議案3 第4期中期目標期間における基幹経費化予算の配分方針の改定について

横田理事から、資料に基づき、機能強化促進事業の部局内在化等のルールを定めた「基幹経費化予算の配分方針」について、従来の取扱いを見直し、事業の性質等に応じて内在化を「時限無し」と「時限付き」の2つの区分に分けること、時限無しとして内在化した事業についても、5年後に実施状況を踏まえた審査を行い、支援継続の要否や次回以降審査の必要性を判断すること等について説明があり、審議した結果了承された。

議案4 北海道大学インフラ長寿命化計画（行動計画）の改定について

菅原理事から、資料に基づき、平成29年3月に策定した「インフラ長寿命化計画（行動計画）」について、計画期間の更新、最新データへの更新、大学を取り巻く状況の変化の追記、点検評価に基づく見直しを行うこと等について説明があり、審議した結果了承された。

報告事項等 1 時間外労働実績について

行松理事から、資料に基づき、本年4月から9月までの時間外労働実績について、対前年度比では、全体としては増加していること、一部の部局では縮減していること、時間外労働の縮減に資すると考えられる好事例等について報告があった。

(以上)